

2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年11月19日

 **古河機械金属株式会社**

* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

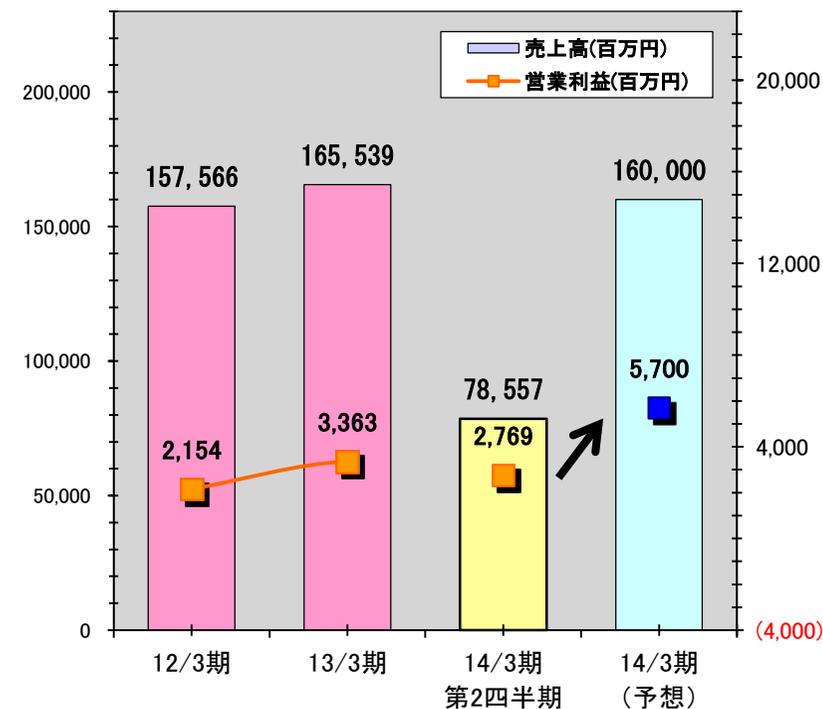
〔業績〕

(単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	13年3月期	14年3月期 予想	対13/3期 増減
売上高	83,291	78,557	△4,733	165,539	160,000	△5,539
営業利益	1,347	2,769	1,422	3,363	5,700	2,336
経常利益	337	2,468	2,130	2,763	4,500	1,736
当期純利益	△113	1,256	1,369	2,976	2,500	△476

〔財務状況〕

		13年3月期	14年3月期 第2四半期	対13/3期 増減
総資産	百万円	186,076	184,801	△1,275
純資産	百万円	51,507	55,368	3,861
自己資本比率	%	26.9	29.1	2.2



〔売上高〕 (単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	28,064	31,611	3,546
(産業機械)	(6,297)	(7,439)	(1,142)
(開発機械)	(11,677)	(12,499)	(821)
(ユニック)	(10,089)	(11,672)	(1,583)
金属部門	37,559	40,262	2,703
電子部門	2,763	2,773	9
化成品部門	2,555	3,033	478
塗料部門(※1)	7,664	-	△7,664
不動産部門	533	524	△8
燃料部門(※2)	3,770	-	△3,770
その他	380	351	△29
合計	83,291	78,557	△4,733

〔営業利益〕 (単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	1,252	1,777	525
(産業機械)	(179)	(521)	(341)
(開発機械)	(33)	(△42)	(△76)
(ユニック)	(1,038)	(1,298)	(260)
金属部門	△103	783	887
電子部門	△38	27	66
化成品部門	160	139	△21
塗料部門(※1)	75	-	△75
不動産部門	121	95	△25
燃料部門(※2)	△28	-	28
その他	△45	△38	7
調整額	△46	△16	29
合計	1,347	2,769	1,422

※1: 13年03月に㈩トウペの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2: 12年10月に古河コマース㈩の株式譲渡により燃料部門から撤退

	14年3月期 第1, 2Q実績	対前年同期増減
銅 価	7,112 \$/ト	△679
為 替	98.9円/\$	19.5

売上高

営業利益

832億

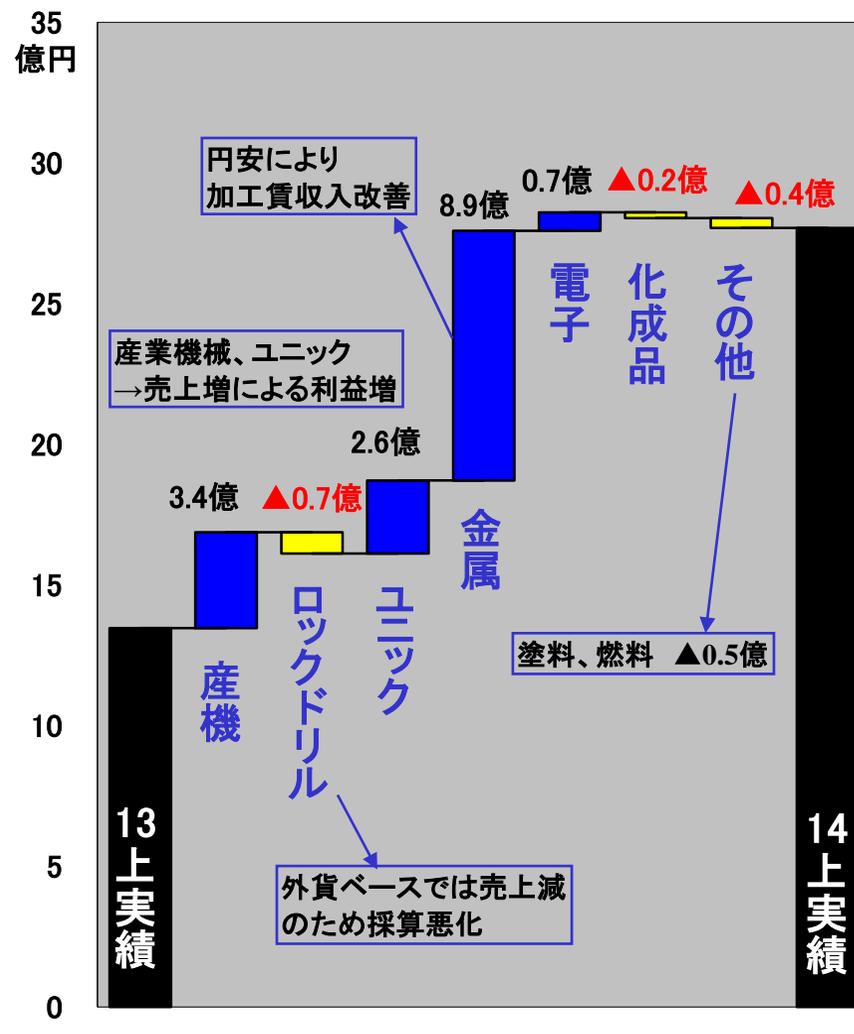
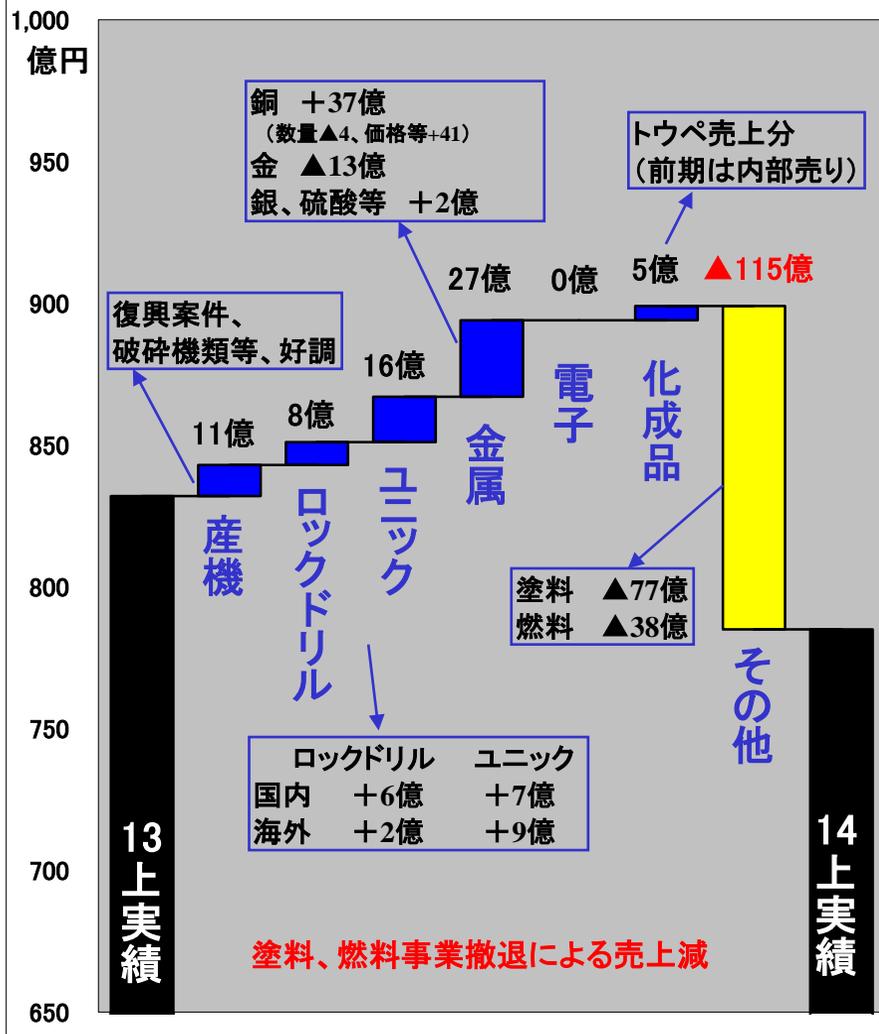
47億減(5.6%減)

785億

13億

14億増(105.6%増)

27億



(単位:百万円)

	13/3月期 第2四半期	14/3月期 第2四半期	対前年同期増減
売上高	83,291	78,557	△4,733
売上原価	72,987	67,774	△5,213
売上総利益	10,303	10,783	479
販売費及び一般管理費	8,956	8,013	△942
営業利益	1,347	2,769	1,422
営業外収益	388	845	456
受取配当金	169	192	22
為替差益	-	369	369
その他	219	282	63
営業外費用	1,398	1,146	△251
支払利息	652	565	△86
休鉱山管理費	260	272	11
その他	485	309	△176
経常利益	337	2,468	2,130
特別利益	468	815	346
受取補償金	460	718	257
その他	7	96	89
特別損失	630	222	△407
減損損失	331	186	△144
投資有価証券評価損	289	-	△289
その他	9	35	26
税金等調整前当期純利益	175	3,060	2,885
法人税、住民税及び事業税	625	1,532	906
法人税等調整額	△408	173	582
少数株主利益(△損失)	71	98	26
当期純利益	△113	1,256	1,369

前年は為替差損(約2億円)計上

原発事故の風評被害に対する
損害賠償金

(単位:百万円)

区分	13年3月期	14年3月期 第2四半期	対13/3期増減
資産の部			
流動資産	79,507	74,486	△5,020
固定資産	106,569	110,314	3,745
有形固定資産	79,024	79,885	860
無形固定資産	214	229	14
投資その他の資産	27,329	30,199	2,869
資産合計	186,076	184,801	△1,275
負債の部			
流動負債	74,439	69,313	△5,126
固定負債	60,130	60,119	△11
負債合計	134,569	129,432	△5,137
純資産の部			
株主資本			
資本金	28,208	28,208	-
利益剰余金	18,580	19,197	616
自己株式	△46	△47	△0
その他の包括利益累計額	3,368	6,489	3,120
新株予約権	53	53	-
少数株主持分	1,343	1,468	124
純資産合計	51,507	55,368	3,861
負債純資産合計	186,076	184,801	△1,275

原材料及び貯蔵品、受取手形及び売掛金の減少等

支払手形及び買掛金の減少等

その他有価証券評価差額金の増加等

■有利子負債

(単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期 第2四半期	対13/3期増減
短期	10,738	12,814	2,076
長期	69,896	70,177	281
有利子負債合計	80,634	82,991	2,357

〔連結業績〕 (単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期 (予想)	対13/3期 増減
売上高	165,539	160,000	△5,539
営業利益	3,363	5,700	2,336
経常利益	2,763	4,500	1,736
当期純利益	2,976	2,500	△476

	13年3月期	14年3月期 第3, 4Q予想
銅 価	7,855 \$/トン	7,100 \$/トン
為 替	83.1円/\$	95.0円/\$

〔売上高〕 (単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期予想	対13/3期増減
機械部門	56,852	68,900	12,047
(産業機械)	(12,894)	(18,800)	(5,905)
(開発機械)	(23,305)	(25,400)	(2,094)
(ユニック)	(20,651)	(24,700)	(4,048)
金属部門	77,944	77,800	△144
電子部門	4,987	5,600	612
化成品部門	5,093	6,100	1,006
塗料部門(※1)	15,078	-	△15,078
不動産部門	1,058	900	△158
燃料部門(※2)	3,770	-	△3,770
その他	753	700	△53
合計	165,539	160,000	△5,539

〔営業利益〕 (単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期予想	対13/3期増減
機械部門	2,923	4,600	1,676
(産業機械)	(778)	(1,600)	(821)
(開発機械)	(△67)	(280)	(347)
(ユニック)	(2,212)	(2,720)	(507)
金属部門	282	900	617
電子部門	△262	20	282
化成品部門	304	300	△4
塗料部門(※1)	65	-	△65
不動産部門	219	0	△219
燃料部門(※2)	△28	-	28
その他	△63	△50	13
調整額	△78	△70	8
合計	3,363	5,700	2,336

※1: 13年03月に㈩トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

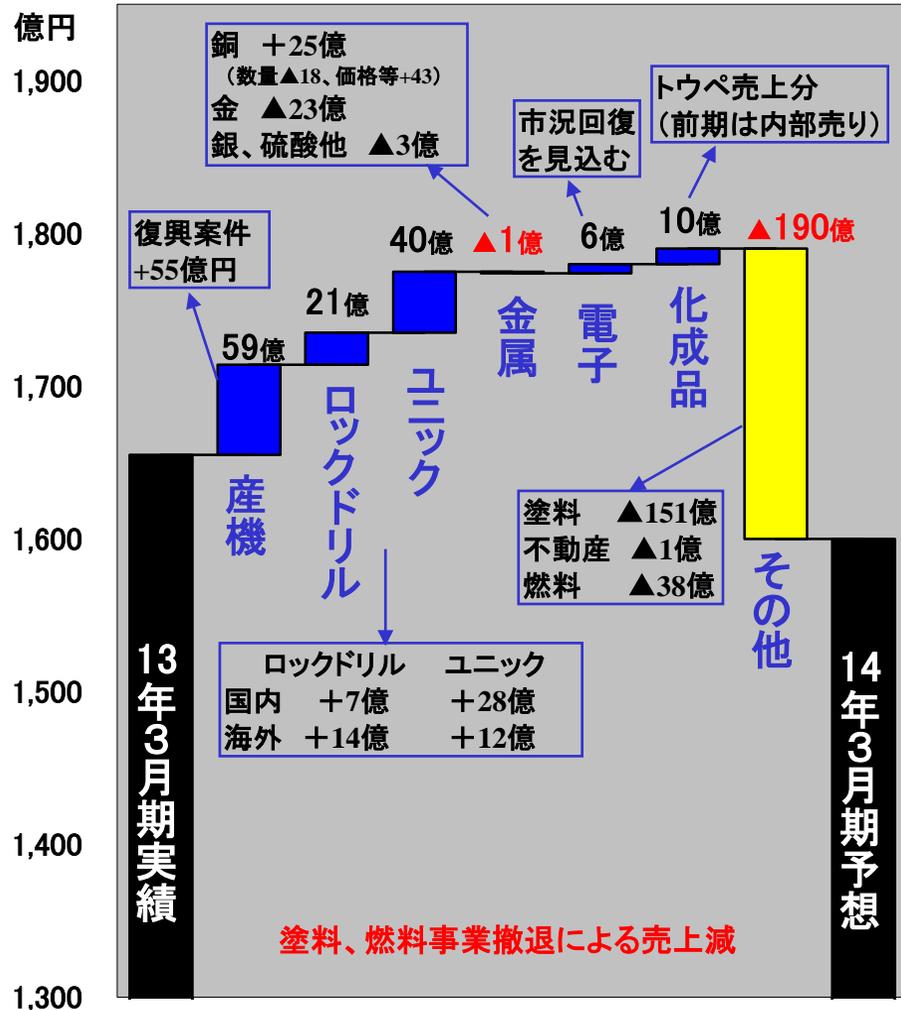
※2: 12年10月に古河コマース㈩の株式譲渡により燃料部門から撤退

売上高

1655億

55億減(3%減)

1600億

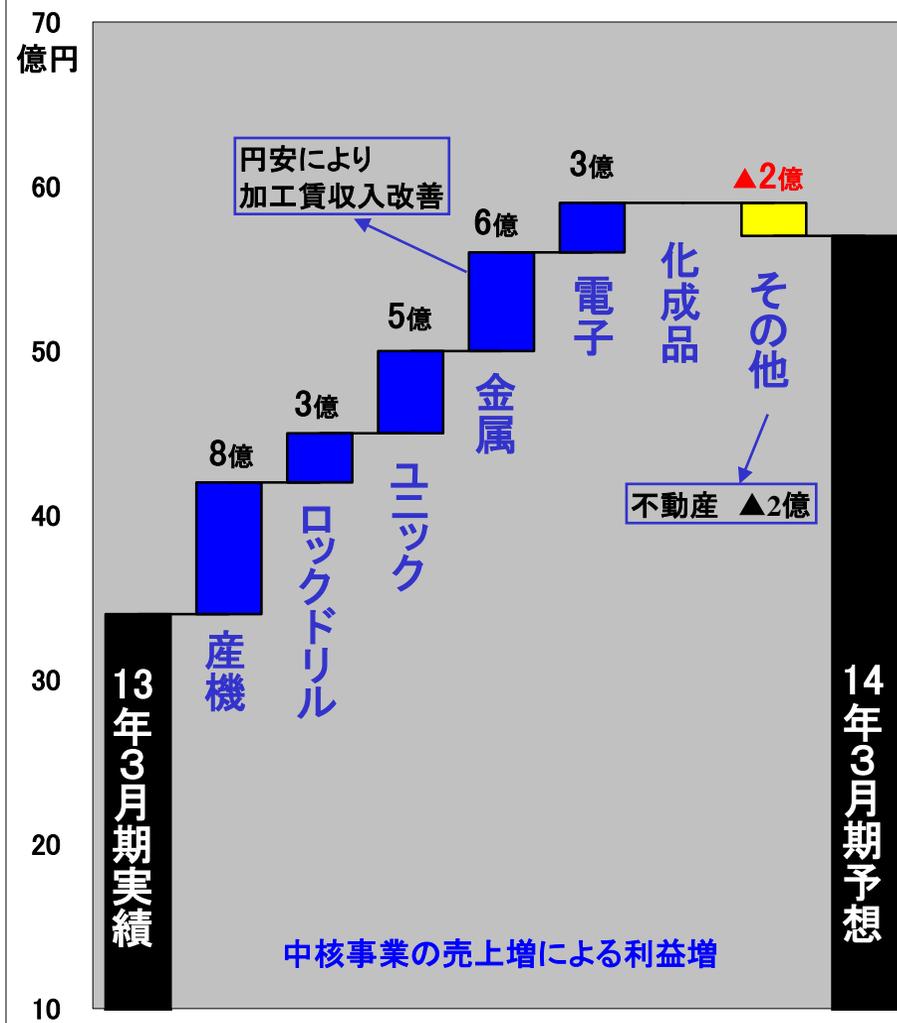


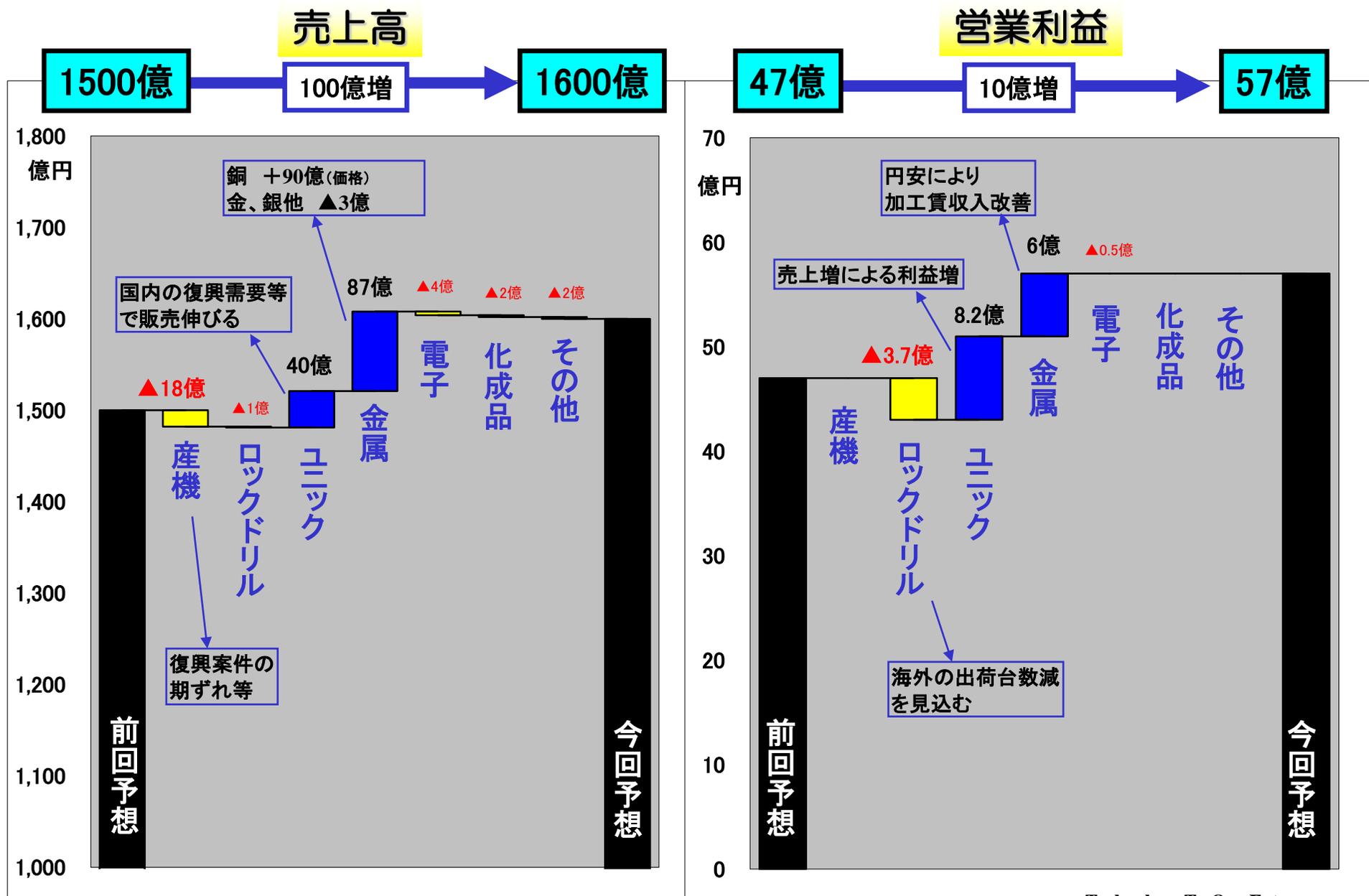
営業利益

34億

23億増(69%増)

57億





設備投資の状況(連結)

(単位:百万円)

設備投資額	12年3月期	13年3月期		14年3月期	
		(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(通年予想)
機械部門	771		978		1,600
金属部門	325		386		700
電子部門	280		231		700
化成品部門	177		103		150
塗料部門	350		339		—
不動産部門	1,482		800		8,800
燃料部門その他	203		89		650
設備投資 合計	3,588	985	2,926	2,575	12,600

日本橋室町東地区再開発事業

減価償却費の状況(連結)

減価償却費	3,328	1,495	3,014	1,342	2,800
-------	-------	-------	-------	-------	-------

研究開発費の状況(連結)

研究開発費	2,621	1,380	2,558	1,278	2,500
-------	-------	-------	-------	-------	-------

金属製品・為替の状況(連結)

		12年3月期	13年3月期		14年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(第3,4四半期想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	384.9	353.4	356.3	322.6	322.1
	\$/トン	8,485	7,791	7,855	7,112	7,100
円相場 対米ドル平均(円/\$)		79.07	79.41	83.10	98.85	95.00
《古河メタルリソース(株)生産販売》		12年3月期	13年3月期		14年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通年予想)
銅 生産量(t)		76,896	45,682	90,387	45,177	88,839
銅 販売量(t)		82,597	48,672	96,789	48,093	94,035

震災により委託製錬所が操業停止したことによる減

従業員の状況(連結)

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	13年9月末	対13/3末増減
人員(名)	2,728	2,752	2,342	2,418	76

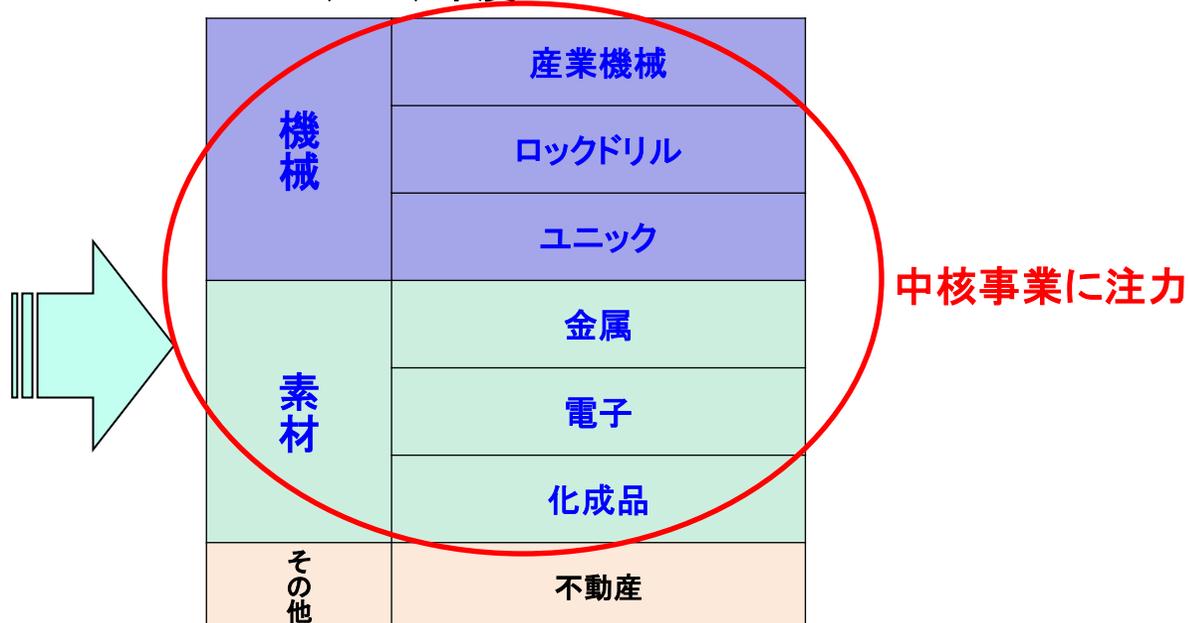
基本方針

- ・機械事業の技術力強化と更なる海外展開の推進
- ・新製品の事業化に向けた開発の促進

2012(H24)年度

機械	産業機械
	ロックドリル
	ユニック
素材	金属
	電子
	化成品
その他	塗料→25年3月撤退
	不動産
	燃料→24年10月撤退

2013(H25)年度



機械事業の重点施策

- ・国内は復興、インフラ案件の営業展開を強化
- ・海外は新興国を中心に鉱山開発、インフラ整備向けに拡販

<産業機械>

- ・震災復興や国土強靱化計画にかかる営業展開を強化
- ・受注した高台移転事業の確実なる進捗（破碎設備、コンベア設備など）

<ロックドリル>

- ・国内 石灰石・砕石の採掘現場、山岳トンネル工事向けに営業展開を強化
- ・海外 引き続きインフラ整備、鉱山開発向けに拡販

<ユニック>

- ・国内 好調なユニッククレーンのほか、トラック需要に依存しない製品も拡販
- ・海外 新興国を中心にユニッククレーン、欧米を中心にミニ・クローラクレーンの営業を強化

復興案件－高台移転・嵩上げ－（産業機械事業）

破碎設備：

高台住宅地を整備するため
山を切り開き、そこで出る岩石を破碎する設備



受注した高台移転事業の確実なる進捗
(破碎設備、コンベア設備など)

コンベア設備：

破碎した土砂を山から嵩上げ地へ運ぶ設備



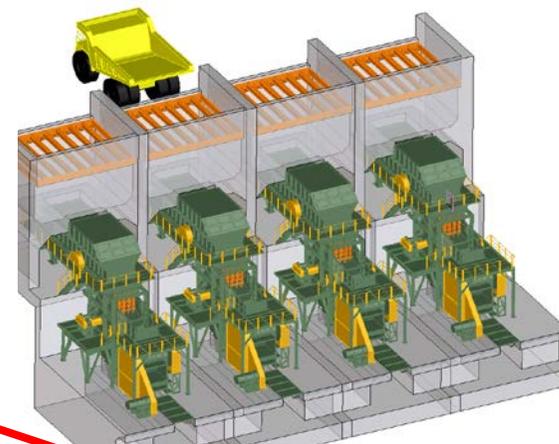
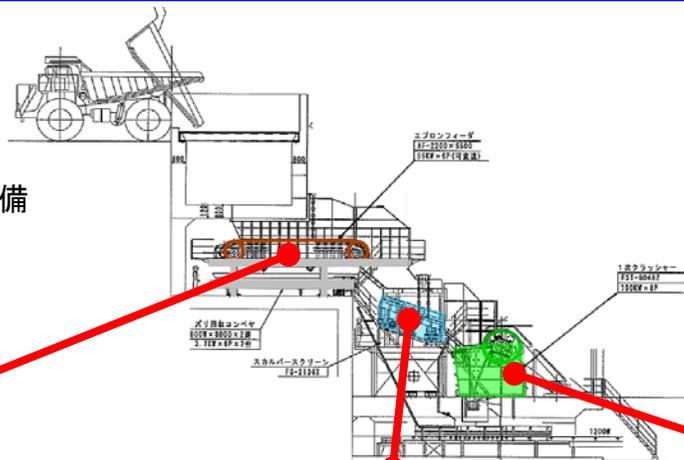
高台移転エリア
(山を切り開く)

嵩上げエリア
(土砂で盛り土)

高台移転イメージ図

破碎設備の概要

高台住宅地を整備するため
山を切り開き、そこで出る岩石を破碎する設備



エプロンフィーダ

スカルパースクリーン

ジョークラッシャ



エプロンフィーダ 実例写真

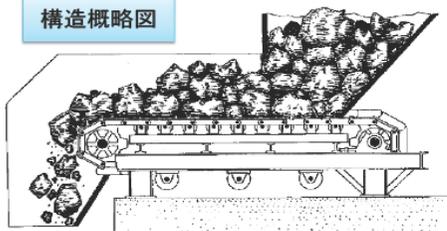


スカルパースクリーン 実例写真



ジョークラッシャ 実例写真

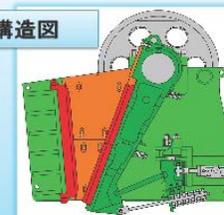
構造概略図



エプロンフィーダは2本のリンクチェーンに短冊形の波板鋼板(エプロンパン)を取付け、ローラ上を走行させて原石ビンから原料を引き出す供給機です。各部は充分強度をもたせ、大きな原料の落下による衝撃や原石ビン中の大きな重量に耐え得るようになっており、原石は定量で引出され次の工程に送られます。

スカルパースクリーンは傾斜形の円運動振動篩で篩目はグリズリーバーとなっています。設置はコイルスプリングで支持されるので、振動が外部に伝わることはありません。原石ビンから引出された原石を泥やズリ分とクラッシャ投入原石に篩分けを行いクラッシャの能力を高めます。

構造図



ジョークラッシャはフレームに固定した固定歯とスイングジョーの備芯軸による前後への往復運動の圧縮作用で原料を破碎します。数百mmの大きな岩石も破碎することができ、鉱山、砕石プラントで1次破碎機として使用されます。

ベルトコンベアで嵩上げ地へ

ベルトコンベア設備の概要

破碎した土砂を山から嵩上げ地へ運ぶ設備



幅1-2m、距離1km級の長距離ベルトコンベアで嵩上げ地へ



復興案件－高台移転・嵩上げ－（産業機械事業）

高台移転や
盛り土による嵩上げ地を整備



※UR都市機構HPより引用
URが関わる復興支援事業（被災3県で20市町村）

【福島県】



【岩手県】



【宮城県】



同様案件への営業展開を強化

インフラ整備で使用される主な機械製品

<トンネル工事現場>

<砕石・石灰石鉱山>
(露天掘り現場) (破碎プラント)

<建設・土木現場>
<資材運搬>

<橋梁工事>
<下水処理場>

油圧クローラドリル



破碎機類



ミニ・クローラクレーン



橋梁



トンネルドリルジャンボ



トンネル工専用
電気集じん器



油圧ブレーカ



ベルトコンベア



ユニッククレーン



下水処理場向け
汚泥ポンプ



インフラに係る主な現場の川上から川下まで当社製品は使用されています

インフラ整備で使用される主な機械製品

<トンネル工事現場>

<砕石・石灰石鉱山>
(露天掘り現場) (破碎プラント)

<建設・土木現場>
<資材運搬>

<橋梁工事>
<下水処理場>



インフラに係る主な現場の川上から川下まで当社製品は使用されています

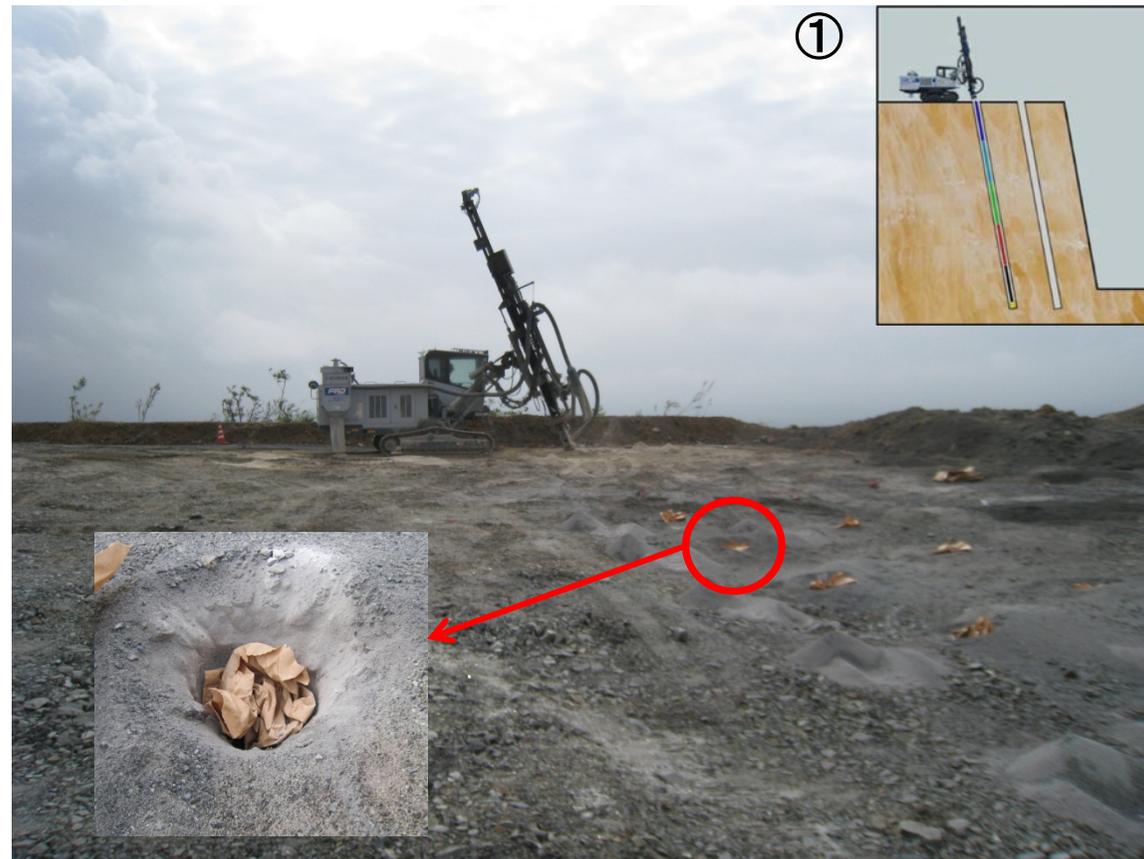
一 砕石・石灰石鉱山(露天掘り現場) — (ロックドリル事業)



油圧ブレーカ:
発破後の大きな岩石を小割する



③
その後、岩石はダンプトラックに積載され
次工程となる破砕プラントまで運ばれる



油圧クローラドリル:
岩盤発破に必要な火薬装填用の穴を開ける

建設・土木工事に不可欠なセメントやコンクリートの需要増により、その原料となる石灰石や砕石の採掘現場では、油圧クローラドリルや油圧ブレーカの稼働率が上昇 → 買換えや部品需要を取り込んでいく

一 砕石・石灰石鉱山(破碎プラント) - (産業機械事業)



④ ダンプトラックで運ばれた岩石を破碎プラントに投入



⑤ 岩石はプラント内で破碎機により破碎されサイズごとに分けられていく



破碎機(1次):
岩石を小さく砕く



スクリーン:
岩石をふるい分けする



破碎機(2次):
さらに岩石を小さく砕く

破碎プラントの稼働率が上昇 → プラント新設・更新需要や部品需要を取り込んでいく

インフラ整備で使用される主な機械製品

<トンネル工事現場>

<砕石・石灰石鉱山>
(露天掘り現場) (破碎プラント)

<建設・土木現場>
<資材運搬>

<橋梁工事>
<下水処理場>

油圧クローラドリル



破碎機類



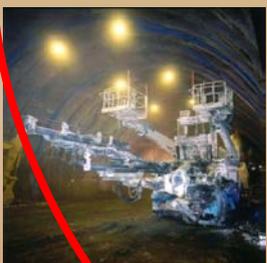
ミニ・クローラクレーン



橋梁



トンネルドリルジャンボ



トンネル工事用
電気集じん器



油圧ブレーカ



ベルトコンベア



ユニッククレーン



下水処理場向け
汚泥ポンプ



インフラに係る主な現場の川上から川下まで当社製品は使用されています

ー山岳トンネル工事ー(ロックドリル事業)



トンネル工事用油圧ブレーカ:
岩盤掘削や発破後の浮石除去に使用

トンネルドリルジャンボ:
岩盤発破に必要な火薬装填用の穴を開ける

山岳トンネル工事において、当社のトンネルドリルジャンボは日本の高度成長期に多くの現場で使用され、現在、国内唯一のメーカーとして、各現場で使用されています

一山岳トンネル工事一(ロックドリル事業)

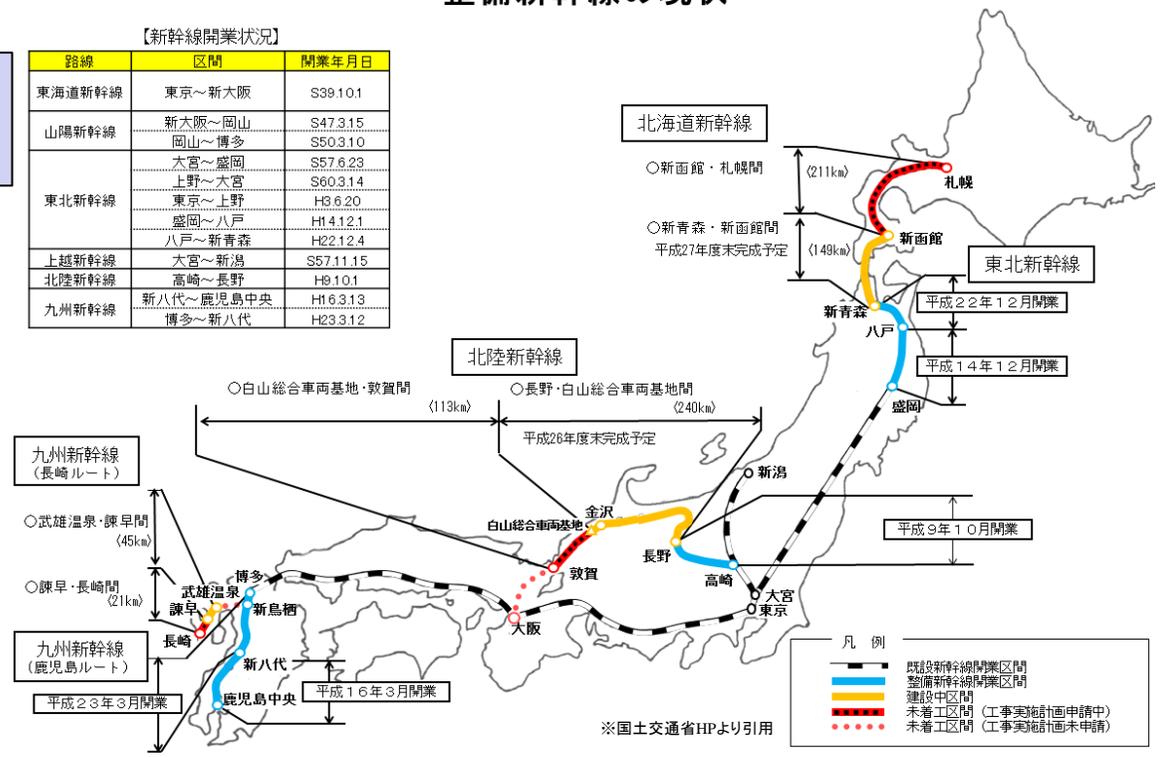
復興道路・復興支援道路(今後5年以内全線開通予定)
→トンネル工事総延長 約70km



整備新幹線の現状

【新幹線開業状況】

路線	区間	開業年月日
東海道新幹線	東京～新大阪	S39.10.1
山陽新幹線	新大阪～岡山	S47.3.15
	岡山～博多	S50.3.10
東北新幹線	大宮～盛岡	S57.6.23
	上野～大宮	S60.3.14
	東京～上野	H3.6.20
	盛岡～八戸	H14.12.1
上越新幹線	大宮～新潟	H22.12.4
	八戸～新青森	S57.11.15
北陸新幹線	高崎～長野	H9.10.1
九州新幹線	新八代～鹿児島中央	H16.3.13
	博多～新八代	H23.3.12



- ・北海道新幹線(新函館～札幌 2035年開通予定)
→トンネル工事総延長 約160km
- ・北陸新幹線(金沢～敦賀 2025年開通予定)
→トンネル工事総延長 約37km
- ・九州新幹線(諫早～長崎 2022年開通予定)
→トンネル工事総延長 約17km

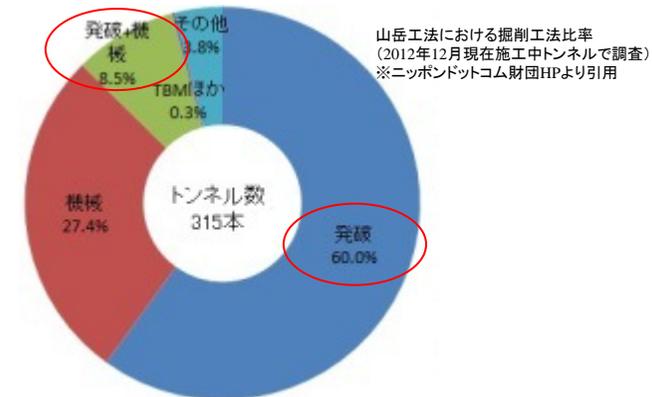
一山岳トンネル工事一(ロックドリル事業)



リニア中央新幹線(品川～名古屋 2027年開通予定)
→トンネル工事総延長 約246km

山岳トンネル工事案件は多数→営業展開を強化

参考データ



山岳工法の内、約70%が発破工法を採用

発破工法で使用されるのがトンネルドリルジャンボです



ートンネル・橋梁工事ー(産業機械事業)



トンネル工事用電気集じん器



橋梁

・トンネル工事用電気集じん器

→バグフィルター式集じん器に比べ電気コスト大幅減を訴求していく

・橋梁

→過去の工事物件の表彰により関東地方整備局において技術点が加算され入札優位に

インフラ整備で使用される主な機械製品

<トンネル工事現場>

<砕石・石灰石鉱山>
(露天掘り現場) (破碎プラント)

<建設・土木現場>
<資材運搬>

<橋梁工事>
<下水処理場>

油圧クローラドリル



破碎機類



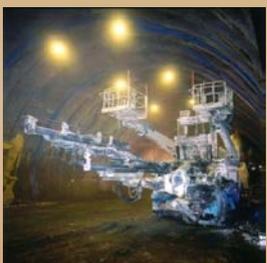
ミニ・クローラクレーン



橋梁



トンネルドリルジャンボ



トンネル工事用
電気集じん器



油圧ブレーカ



ベルトコンベア



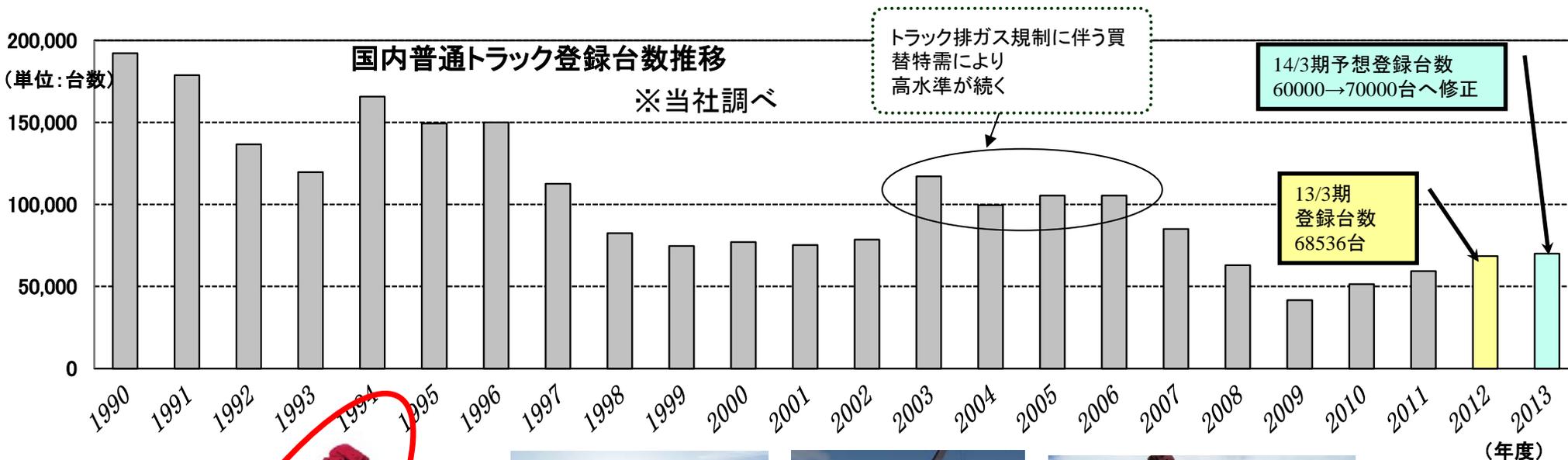
ユニッククレーン

下水処理場向け
汚泥ポンプ



インフラに係る主な現場の川上から川下まで当社製品は使用されています

一 建築・土木現場、資材運搬一 (ユニック事業)



ユニッククレーン



建設資材運搬、荷降ろし作業で使用するユニッククレーンは復興需要に加えてトラック買換え需要などにより好調を維持

一 建築・土木現場、その他（ユニック事業）



ミニ・クローラークレーン：
屋内など狭い場所でも
自走して移動し作業できる
コンパクトなクレーン



船舶用クレーン（オーシャンクレーン）：
船上で荷降ろしや網を引くのに使用

トラックに依存しないミニ・クローラークレーンや船舶用クレーン等も引き続き拡販

一海外 露天掘り鉱山ー(ロックドリル事業)

油圧ブレーカ:
発破後の大きな岩を小割する機械



油圧クローラドリル:(孔径64-115mm)
火薬装填用の穴を開ける機械



左:ダウンザホールドリル
(孔径89-229mm)

右:空圧クローラドリル
(孔径64-102mm)



鉄鉱石・銅鉱石・石炭・石灰などの中規模鉱山、碎石・セメント各社、専門下請業者をターゲットに
戦略機である油圧クローラドリル、油圧ブレーカを拡販



南アフリカ／石灰鉱山



チリ／銅鉱山



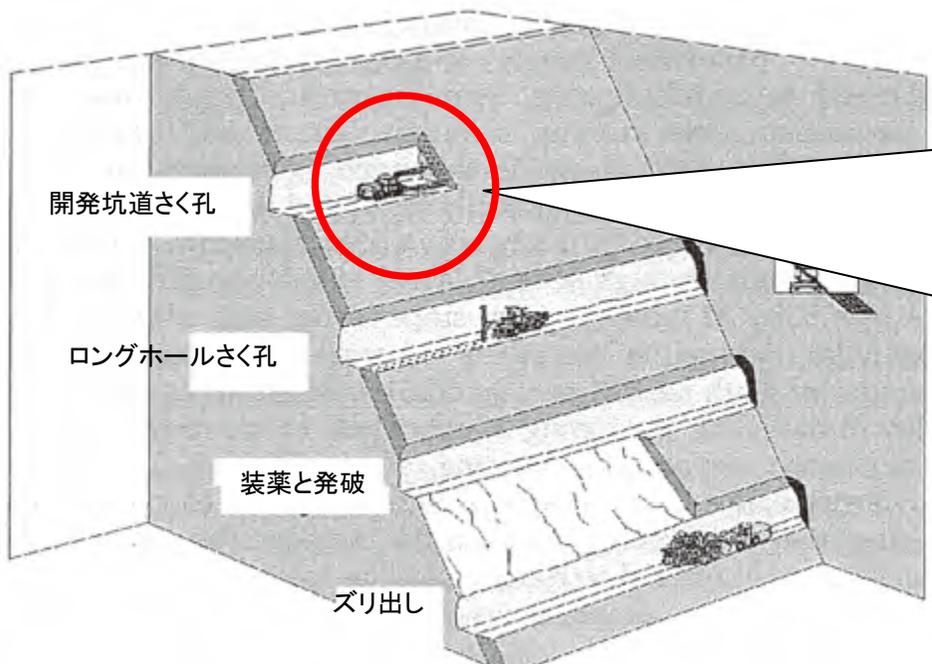
インドネシア／石炭鉱山



中国・新疆／鉄鋼石鉱山

海外で稼働するロックドリル製品事例

ー海外 坑内掘り鉱山ー(ロックドリル事業)



鉱山用ドリルジャンボ



坑内掘り鉱山をターゲットに
1ブームドリルジャンボを展開

ー海外 建設・土木現場ーロックドリル事業



岩盤の固い地域では油圧ショベルの
アタッチメント製品である
油圧ブレーカを使用して整地



大規模な整地には
油圧クローラドリルも使用される

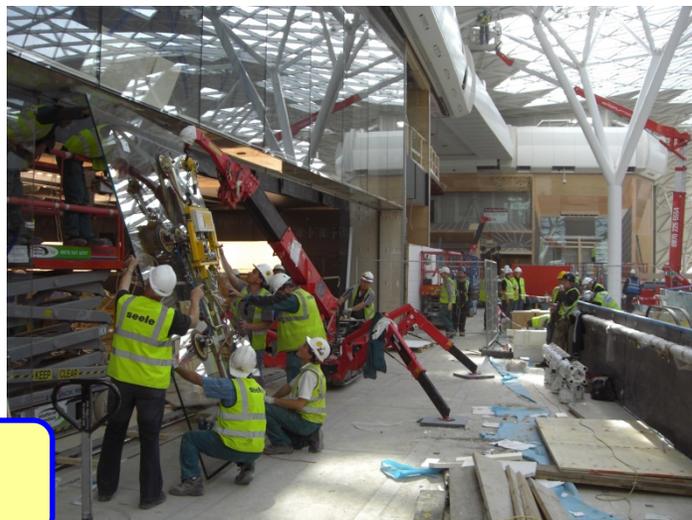


ゼネコンをターゲット

—海外 建築・土木現場、資材運搬—(ユニック事業)



折り畳んで作業現場に移動



建設現場屋内でガラス外壁施工



屋内の狭いスペースで作業

ミニ・クローラークレーンの
用途開拓による拡販



ロシアで稼働するユニック



インドネシアなどの油田でも

ロシア、東南アジアなど新興国向けに
ユニッククレーンの営業強化

素材事業の重点施策

- ・ 鉱山投資による収益確保
- ・ 新製品・新素材の開発と事業化により収益力を強化

< 金属 >

鉱石の安定調達と権益確保のための鉱山投資を引き続き検討

< 電子材料 >

電子材料事業の柱の一つとしてコイル事業の拡大・強化

コアを自社生産できる技術を活かし、電子制御化が進む自動車部品向けに注力
(EX: 充電器、電動パワステ、アイドリングストップ、エンジンユニット等向けのコイル)

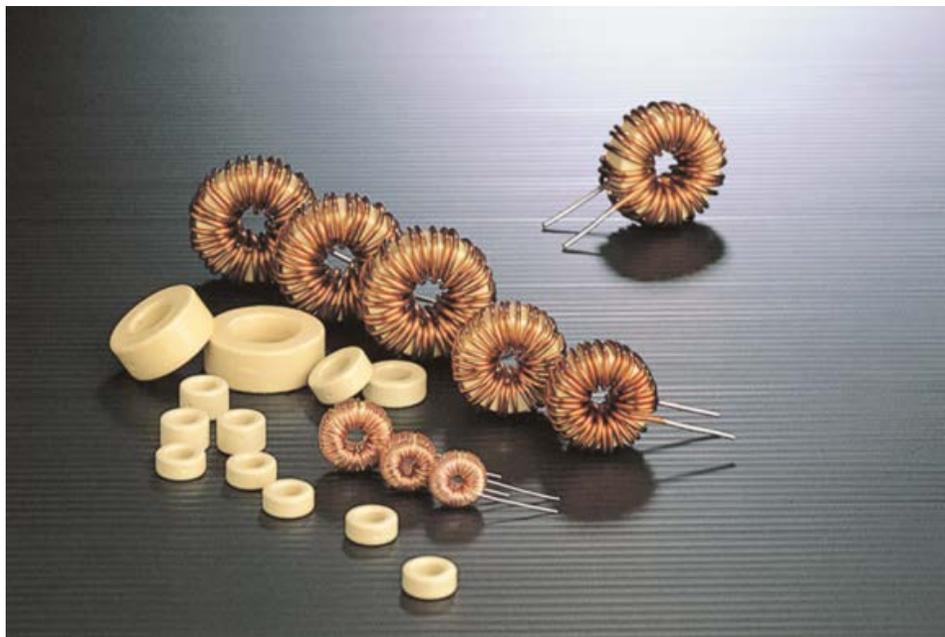


EV・PHV充電器用リアクトル

< 事業化案件 >

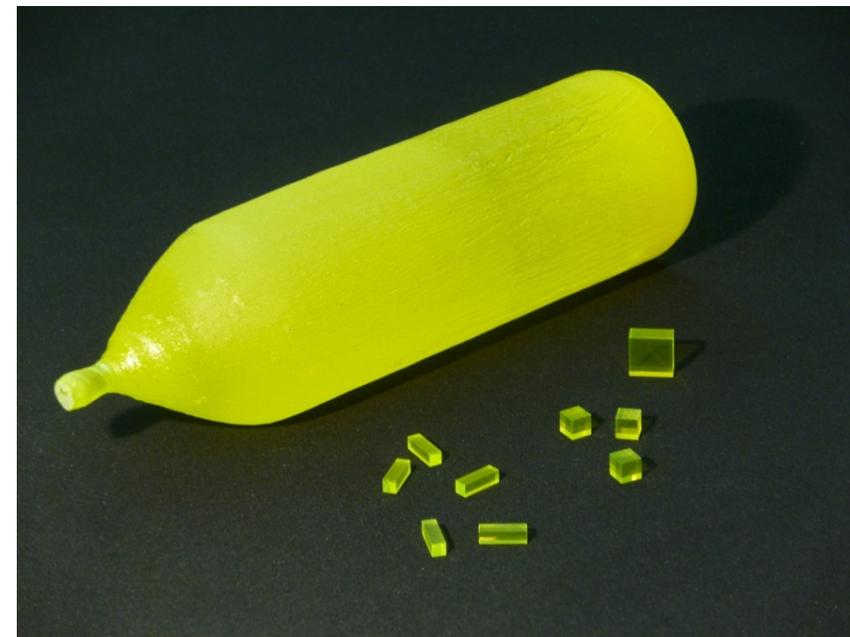
引き続き、窒化ガリウム (GaN) 基板、熱電変換材料、シンチレータ結晶 (LuAG結晶・GAGG結晶) の応用展開等、開発を進め、事業化を推進

次なる事業の柱として期待される素材製品



コイル製品:

PHVやEV、燃料電池車などエコカーを筆頭に、車の電子制御に不可欠な材料



GAGG結晶:

ガンマ線検出能力に優れたシンチレータ結晶で、原発事故後の今も社会問題となっている放射線測定の需要に応えるため、用途開拓を進める

その他事業(不動産事業)



室町古河三井ビルディング
(商業施設名: COREDO室町2)
地上22階、地下4階



日本橋室町東地区 新ビル
2014年1月31日竣工予定
3月20日商業オープン予定
(当社の所有分は約50%)



画像データ: 三井不動産HPより引用

過去7年間の部門別実績及び業績予想(2013年11月11日発表)

〔売上高〕 (単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期(予想)
機械部門	67,795	75,841	62,639	44,313	47,025	53,198	56,852	68,900
（産業機械）	(14,119)	(17,331)	(15,836)	(12,783)	(10,655)	(12,949)	(12,894)	(18,800)
（開発機械）	(33,046)	(37,497)	(29,427)	(20,386)	(23,880)	(24,143)	(23,305)	(25,400)
（ユニック）	(20,629)	(21,012)	(17,375)	(11,142)	(12,490)	(16,105)	(20,651)	(24,700)
金属部門	84,753	97,519	68,786	71,132	79,979	68,114	77,944	77,800
電子部門	(9,364)	(8,751)	5,568	5,969	7,147	4,615	4,987	5,600
化成品部門	(6,538)	(6,525)	5,820	5,025	5,076	5,187	5,093	6,100
塗料部門(※1)	—	—	—	3,692	15,040	14,874	15,078	—
不動産部門	2,936	2,758	2,386	2,043	1,577	1,233	1,058	900
燃料部門(※2)	28,206	20,735	15,452	9,893	9,004	9,576	3,770	—
その他	1,154	1,294	1,204	854	785	766	753	700
合計	200,749	213,426	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	160,000

〔営業利益〕 (単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期(予想)
機械部門	5,901	6,837	1,733	△3,022	△566	1,970	2,923	4,600
（産業機械）	(72)	(837)	(767)	(433)	(△29)	(708)	(778)	(1,600)
（開発機械）	(3,120)	(3,702)	(255)	(△2,584)	(△350)	(333)	(△67)	(280)
（ユニック）	(2,708)	(2,297)	(710)	(△870)	(△186)	(928)	(2,212)	(2,720)
金属部門	8,837	6,206	23	3,224	1,494	308	282	900
電子部門	(1,386)	(984)	4	657	1,279	△234	△262	20
化成品部門	(701)	(470)	201	104	269	251	304	300
塗料部門(※1)	—	—	—	△19	△93	△329	65	—
不動産部門	839	749	706	1,128	635	356	219	0
燃料部門(※2)	△114	△430	202	△29	△56	△13	△28	—
その他	△301	△228	△304	△376	△92	△93	△63	△50
調整額	△351	△181	△264	△69	△49	△60	△78	△70
合計	16,898	14,407	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	5,700

※1：09/12に㈩トウベを連結子会社化、13/03に㈩トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2：12/10に古河コマース㈩の株式譲渡により燃料部門から撤退

注：「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用（11年3月期）により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

銅価格海外相場推移(月中平均)



為替相場推移(月中平均)

